

CS通信

訓子府町 CS・学校運営協議会

地域みんなで学校応援団
これまでのCS通信や学校運営協議会に
関する情報はこちらへ 《訓子府町HP》⇒



CS(コミュニティ・スクール) 第1回学校運営協議会開催 ～学校経営方針承認される～

今年度の第1回の訓子府町学校運営協議会を5月23日(月)に開催しました。

委員の自己紹介後、認定こども園から小中学校、高校の園長・校長より本年度の学校経営方針・重点目標等について説明があり、全て承認されました。

〈こども園〉保育支援システム(コドモン)の導入について、保護者の意見への対応について、今年度のキーワード「SIN」(新・真・進・親・心・信)についてなどを説明。

〈訓子府小学校〉こんな学校にしていきたいと考える3点「子ども達にとって楽しい、学びがいのある学校」「教職員が共にチームとして力を合わせる学校」「地域に信頼をされる学校」としたい。

〈居武士小学校〉今年度の重点目標が3点「心の涵養」「学び力の向上」「心身の成長」、保護者からの要望のある訓小との交流の充実を図っていきたい。

〈訓子府中学校〉今年度の重点「的確に判断して行動できる力」生徒が成長した姿・ゴールイメージを意識し、進めていきたい。特別支援教育の充実では、今年度から「通級指導教室」が開設された。個に応じた指導と支援を行って行く。

〈訓子府高校〉昨年、スクールミッション・スクールポリシーを制定。今年度の重点は6点、「授業改善」「ICTの活用：個別化された学習指導」「くねっぶ学を中心に据えた学校の魅力化」「教育相談の魅力化」「働き方改革と地域に信頼される学校」「コロナ対応」を進める。18才で成人となり、運転免許取得などを今後どうしていくかなど課題がある。

〈委員のみなさんから〉

- ・こども園：保護者からの要望にすぐに対応して、改善していただけた。ICTの推進で、毎日子どもの様子が配信されている。楽しみにしている。
- ・訓小：コロナ禍の中で、学芸会等、柔軟に対応して行事等を進めていただけた。ICTの推進でネットでの調べ方のスキルが上がっている。ただ、ネットの情報をうのみするのが心配。疑う力も必要。
- ・居小：児童数が少ない小さな学校でしか経験できないことがある。子ども達は、いい経験を積んでいる。これからも地域で子ども達を見守っていただきたい。
- ・訓中：ふるさと教育の中高農園活動などはありがたい。今後も地域との連携を図って欲しい。その他、ふるさと教育「くねっぶ学」、「ながら見守り」の取組の説明や「部活動の地域移行」についての情報提供等があり、第1回の協議会を終了しました。



◇令和4年度 学校運営協議会委員の皆様 ～よろしくお願ひします。～【敬称略】

認定こども園育友会会長 加藤 憲一(新)
居武士小学校後援会長 伊藤 裕之(新)
認定こども園評議員 広部 ひかり
居武士小学校評議員 河野 晴男(新)
町内会連絡協議会会長 石田 敏明(新)【会長】
スクールサポーター 美馬 律子
訓子府小学校長 加藤 弘一(新)
訓子府中学校長 橋本 正之(新)
JAきたみらい訓子府地区事務所担当M 畠山 重文

訓子府小学校PTA会長 谷 弘人(新)
訓子府中学校PTA会長 山田 英知(新)【副会長】
訓子府小学校評議員 森岡 勇一
訓子府中学校評議員 湊谷 克博
実践会連絡協議会長 谷 道弘(新)
認定こども園長 牧野 喜充
居武士小学校長 井坂 裕一
訓子府高等学校校長 金森 卓紀(新)
訓子府町商工会副会長 但野 正美

「くねっぶ学」の新しい試み：訓子府高校1年生「訓子府町見学バスツアー」



訓子府石灰㈱



會澤高圧コンクリート㈱



菅野養蜂場

訓子府高校の今年度の新入生は23名。多くが北見市や置戸町からの通学者です。3年間の訓子府町での高校生活を充実させて行くために、「訓子府町見学バスツアー」を実施しました。6月28日、午前中の2時間半を使って、訓子府町の主な公共施設をバスの中から見学、「訓子府石灰工業」や「會澤高圧コンクリート」「菅野養蜂場」では、施設の概要を説明していただきました。

訓子府町での高校生活スタートの時期に訓子府町を知ること、今後の「くねっぶ学」への取組も充実していくことでしょう。

他にも今年度の「くねっぶ学」の取組が始まっています。3年目を迎える「訓中・訓高の協働農作業」は、サポーターの指導の下、5月23日にジャガイモ・タマネギの植え付けを行いました。訓小では、3年生のコーンレンジャーJR隊が始まりました。味の素食品訓子府工場のサポートで、トウモロコシの植え付けから収穫までを行い、年間を通した調べ学習を進めます。こども園も銀河農園でジャガイモを植えました。園児達は、秋のやきいもがおいしくできるようにと、植えた後に、「おいしくなあれ!」とお祈りをしていました。



訓中・訓高の協働農作業



こども園のいもうえ



訓小のコーンレンジャーJr隊

◇ 子どもたちを多くの目で、見守ってほしい ◇

「ながら見守り」のお願い

地域の中で元気いっぱい成長していく子どもたち、でも、子どもたちの周りには危険がいっぱい!

登下校時や放課後に心配される交通事故、子どもたちに声をかける不審者など。また、危ない場所に立ち入ったり、危険な遊びをしてしまったりしてしまうこともあります。

さまざまな人が、さまざまな場所や時間に、ちょっと意識して子どもたちを見守ってあげることにより、事故や犯罪を未然に防ぐことができます。普段の「犬の散歩」や「ウォーキングやジョギング」の途中、「買い物」の途中、「車の運転中」など、何かをし「ながら」で構いません。子どもたちを見守ってあげてください。危険な行為等を見かけたら、その場で注意してあげてください。そして、学校に連絡をお願いします。

～ できる時に、できる範囲で 安全パトロール ～

